学校番号	122

平成31年度　　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校 改訂 物理基礎（第一学習社）						
副教材等	改訂 ネオパルノート物理基礎（第一学習社）、セミナー物理基礎（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

法則の理解を深めるために問題演習は欠かせない。授業の進行に合わせて問題集のネオパルノートを使って復習し、単元が終わるごとにセミナーを使って基礎から応用問題まで演習することで理解が深まる。わからないことがあれば、授業担当者にどんどん質問してほしい。

２　学習の到達目標

物理的な事物・現象についての観察，実験や課題研究などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テスト、定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	力と運動	**物体の運動**	○	○	○	○	a:運動の表し方、落下運動、様々な力とつりあい、運動の法則性、仕事とエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探求をしようとする。 b:運動の表し方、落下運動、様々な力とつりあい、運動の法則性、仕事とエネルギーについて考察し、考えを表現している。 c:落下運動の実験や力学的エネルギーの保存実験を通し、基本的操作を習得し、結果を的確に記録、整理している。 d:運動の表し方、落下運動、様々な力とつりあい、運動の法則性、仕事とエネルギーについて理解し、知識を身につけている。	学習状況 探求活動 ワークシート 観察・実験 小テスト 定期考査
		力のはたらきとつりあい	○	○		○		
		運動の法則	○	○		○		
	エネルギー	**仕事と力学的エネルギー**	○	○	○	○		
2学期		**熱とエネルギー**	○	○		○	a:熱と温度や波の性質に関心を持ち、探求しようとする。 b:熱運動という視点や熱と仕事の関係、直線上を伝わる波の性質について考察し、考えを表現している。 c:波動実験器やバネなどの観察、実験を行い、結果を的確に記録、整理している。 d:熱の移動や熱と仕事の変換、波の性質について理解し、知識を身につけている。	学習状況 探求活動 ワークシート 観察・実験 小テスト 定期考査
	波動	**波の性質**	○	○	○	○		
3学期		**音波**	○	○	○	○	a:音波や電気、電気抵抗、交流の発生、エネルギーの変換とその利用などに関心を持ち、異様的に探求しようとする。 b:弦の振動や気柱の共鳴、抵抗率の違い、交流の発生や送電、人類が利用可能なエネルギーなどについて考察し、考えを表現している。 c:気柱共鳴の実験を行い、基本操作を習得するとともに、結果を的確に記録、整理している。 d:弦の振動や気柱の共鳴、抵抗率の違い、交流の発生や送電、人類が利用可能なエネルギーなどについて理解し、知識を身につけている。	学習状況 探求活動 ワークシート 観察・実験 小テスト 定期考査
	電気	**静電気と電流**	○	○		○		
		電流と磁場	○	○		○		
		エネルギーとその利用	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:観察・実験の技能　d:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。